

情報共通 (事故非管理)

東京電力株式会社

11/17 15:50 FAX

HISAリリース用紙

手許資料

無題

11月17日 福島地域支援室における15時からの定例レク概要をお知らせします。

11/17 (木) 15時定例レク概要

- レク出席人数: 12名 (記者9名、県1名、警察1名、自衛隊1名)
- レク実施時間: 15:01~15:12

【説明内容】
①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ (11月17日 午前10時現在) 【資料配付】

・2号機PCVガスサンプリングにおいて、計算処理上の誤りがあった旨を説明。

②福島第一原子力発電所 プラント関連パラメータ (11月17日 12:00現在) 【資料配付】

③TOPICS (作業実績・予定等) 【口頭説明】

<予定>
本レクでのお知らせ事項は、なし。

<実績>

○3号機SFP代替冷却設備のストレーナ清掃について

・13:32、清掃に伴い冷却を停止。

○4号機SFPへのヒドラジン注入について

・13:15より、注入開始。

○淡水化装置(RO)について

・パトロール中に、RO移送ライン(海水側)でピンホール3ヶ所確認。

・また、RO処理後の淡水側ラインでもピンホールを確認。こちらは、止水テープにて補修済み。

【主な質疑】

Q. ガスサンプリングの誤りは、全般の核種で間違いがあったのか?

A. 一部の核種で、計算誤りにより1割程度低い値で評価していた。

Q. ROの漏えいは、つなぎ目などではなく、ピンホールということでよいか?

A. そのとおり。

以 上

情報共有

(1枚非管理メモ)

東京電力株式会社

11/17 19:00' PLX

ハサワ 班 → プレス会見から

手許資料

11月17日 福島地域支援室における16時30分からの道筋プレスレク概要をお知らせします。

日 時：11月17日（木）16:30～17:16

場 所：自治会館3階303会議室

発表者：原子力安全・保安院（福島地域原子力安全業務統括）渡邊 誠氏

（政府原子力災害現地対策本部住民支援班長）佐藤 晴氏

東京電力株式会社 小森常務取締役

” 原子力品質・安全部長

” 福島地域支援室長

” 福島原子力補償相談室 福島補償相談センター所長

司会者：原子力安全・保安院（政府原子力災害現地対策本部広報班長）木野 正登 氏

出席者：15名（記者13名、福島県2名）

○冒頭、木野班長からの挨拶があり、その後、以下の順に説明等を実施。

・渡邊統括から、「ステップ2の達成時期は年内を目標」に変更はないこと、前回10月17日の時点では「(2)燃料プール」「(3)滞留水」「(7)津波・補強・他」の課題は目標達成しているが、今回は加えて3つの課題「(4)地下水」「(5)大気・土壤」「(6)測定・低減・公表」についても目標達成したこと等について説明。

次に小森常務より、お詫び挨拶。主に資料3の補足説明と中長期ロードマップについて説明。

・”から、「資料2」について説明。主に変更点と進捗状況について説明。

・佐藤班長から、「原子力被災者への対応に関するロードマップの進捗状況のポイント」について説明。

【質疑】

< >
Q. 冷温停止の考え方についてだが、数値的には達成しているとのことだが、中期的な観点の簡単なポイントを確認したい。

A. (渡邊統括) 冷温停止については資料2にあるが、現状について2回意見聴取会を実施し評価しているところ。
今回は、臨界ではなかったがキセノンが検出されたが、例えば万が一の事態に対し対応ができるかどうか、配管に一定濃度の水素があるが、その分析がどうなっているか、等への対応。また、余震に対する対応などがポイントとなり、慎重に評価している。それがきっちり評価できれば、第2ステップの達成となる。その後、原子力委員会等への報告等々その他のプロセスもある。

S Q. 年内達成はできると考えているのか。

S A. 達成しないといけないと考えている。迅速に対応しているところ。

< >
Q. 3号機のガス管理システムの工事については、放射線濃度が高い状況にあるが、年内に作業が終了するのか。

A. (渡邊統括) おっしゃるとおり3号機は高線量下にあるが、冷温停止自体はPCVガス管理システムが完成しないからできないものではない。プラント関連パラメータでの管理、ホウ酸の注入等での対応が可能である。したがって、ステップ2は達成可能と考える。

< >
Q. 除染活動の国の直轄でない自治体等で実施するものについて、東電はいつになつたら出てくるのか。
A. (小森常務) そういう話は多数いただいている。国のモデル事業、専門家のご意見をいただきながら人員を集め対応を始めているところ。我々で対応できるところは実施していく体制を作っている。既に100人規模だが、対応させていただいている。

S Q. いつまで、何人の体制で実施していくのか。

S A. (小森常務) 今は具体的な数値はお示しできないが、速やかに対応できるようにしたい。

S Q. いつまでに示せるのか。もう、震災から8ヶ月も経っているが。

S A. (小森常務) 国の事業や技術面では対応は始めている。動いていないわけではなく、状況に応じて対応していることをご理解いただきたい。(除染活動の) ご要望自体も全てを見積もれている訳ではない。

() 具体的に自治体の対応をさせていただいているが、除染ボランティアで東電をという声もいただいている。小森が話した通りだが、既に川俣町、南相馬等の対応をさせていただいているが、東電の名前は伏せてやって欲しいと言われ、活動が見えない状況となっている。

以 上

11月17日 福島地域支援室における19時30分からの定例レク概要をお知らせします。

11/17 (木) 19時30分定例レク概要

■ レク出席人数: 9名 (記者8名、自衛隊1名)

■ レク実施時間: 19:32~20:08

【説明内容】

①福島第一原子力発電所プラント状況等のお知らせ (11月17日 午後3時現在) [資料配付]

・R/O濃縮水移送ラインでの漏えい量は、“25リットル”。

②福島第二原子力発電所プラント状況等のお知らせ (11月17日 午後4時現在) [資料配付]

③福島第一原子力発電所 サンプリング関係 [全て資料配付]

・空気中の放射性物質の核種分析の結果について (第二百三十七報)

・海水中の放射性物質の核種分析の結果について (第二百三十報)

・取水口付近で採取した海水中に含まれる放射性物質の核種分析の結果について (11月16日採取分)

・タービン建屋付近のサブドレンからの放射性物質の検出について (11月16日採取分)

・集中廃棄物処理施設周辺 サブドレン水核種分析結果

・横内における土壌中の放射性物質の核種分析の結果について (統報39)

・海底土核種分析結果 (採取中止)

○福島第一原子力発電所敷地内外における

降下物中の放射性物質の核種分析の結果について (統報) [資料配付]

⑤福島第一原子力発電所2号機

原子炉格納容器ガス管理システムの気体のサンプリング結果について [資料配付]

⑥福島第一原子力発電所2号機

原子炉格納容器ガス管理システムの気体のサンプリング結果データ誤りについて [資料配付]

⑦TOPICS (作業実績・予定等) [口頭説明]

<実績>

○2号機PCVガス管理システムについて

・本日5:00現在、水素濃度1.0%。

○3号機ロボットによる線室等の調査(本日、明日)について

・Packbot 2台で、R/B 1階ハッチレール部調査を実施。(明日も実施予定。)

○6号機T/B地下階から仮設タンクへの滞留水移送について

・10:00~16:00、移送を実施。

○6号機の取水路清掃に伴う原子炉・SFPの冷却停止について

・17:02 RHRポンプ(A)起動。

・16:55 RHR Sポンプ(C)起動。

・16:47 ASWポンプ(A)起動。

・起動時温度は、原子炉35.7°C、SFP25.5°C。

○2F1号機RHR(A)への切替について

・17:15にRHR(B)停止、17:29にRHR(A)起動。

<予定>

○2号機PCV圧力計について

・明日のパラメータより、本設計器の指示値に記載変更。

<その他>

○3号機R/B地下階水位について

・カメラ電源不調により、16:00の計測不可。

○4号機SFP代替冷却系システム停止について

・14:58、熱交換器の入口と出口の流量差が大きいため、警報発生・自動停止。

・16:12に再起動。

●以下は、レク時に配布せず“投げ込み”のみ実施

・福島第一原子力発電所の状況

【主な質疑】

なし。

以上